

新型コロナワクチンQ&A

※厚生労働省ホームページ出典／9月28日現在

Q 日本で接種が進められている新型コロナワクチンにはどのような効果（発症予防、持続期間）がありますか？

日本で接種が行われている新型コロナワクチンは、いずれも、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果が期待されています。効果の持続期間や、感染を予防する効果についても、時間の経過や接種者数の増加に伴い、研究が進んでいます。

Q 変異株の新型コロナウイルスにも効果はありますか？

一般論として、ウイルスは絶えず変異を起こしていくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるというわけではありません。それぞれの変異株に対するワクチンの有効性がどのくらいあるのかについても、確認が進められています。

Q 私は妊娠中・授乳中・妊娠を計画中ですが、ワクチンを接種することができますか？

妊娠中、授乳中、妊娠を計画中の人も、ワクチンを接種できます。日本で承認されている新型コロナワクチンが妊娠、胎児、母乳、生殖器に悪影響を及ぼすという報告はありません。妊娠中の時期を問わず接種をお勧めします。

Q ファイザー社のワクチンと、武田／モデルナ社のワクチンの安全性には違いがありますか？

いずれも、安全性を確認した上で承認され、世界各国で接種されています。接種後の軽い副反応については、症状ごとの頻度などに多少の違いがみられます。

接種後の主な副反応として、いずれのワクチンも、接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛、悪寒、関節痛などが報告されています。異なる臨床試験の結果を単純に比較することはできませんが、臨床試験の結果では、武田／モデルナ社のワクチンの方がこれらの副反応の発生頻度が5～20ポイント程度高く報告されているほか、接種から1週間くらい経った後に、接種した場所の痛みや腫れなどがみられることが報告されています。こうした症状の大部分は接種後数日以内に回復しています。さらに、いずれのワクチンも高い有効性があることを踏まえると、こうした軽い副反応の頻度の違いを重視するよりも、いずれかのワクチンを接種できる時に接種することをお勧めします。

Q これまでに認められている副反応にはどのようなものがありますか？

注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛みなどがみられることがあります。まれな頻度でアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が発生します。

発現割合	症状	
	コミナティ（ファイザー社）	モデルナ（武田薬品）
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛	接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛
10～50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ	関節痛、悪寒、吐き気・おう吐、リンパ節症、発熱、接種部位の腫れ、発赤・紅斑
1～10%	吐き気、おう吐	接種後7日以降の接種部位の痛み・腫れ・紅斑

市内感染者の状況

市内月別感染者数

(単位：人)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2020	0	0	0	8	0	0	4	11	5	3	10	53	94
2021	70	9	6	46	142	23	57	246					599

